

安全データシート  
過ヨウ素酸 ( Periodic acid )

作成日 2017年8月17日

1. 化学物質等の名称及び会社情報

製品の名称	Glycoprotein Western Detection Kit
該当コンポーネントの名称	Oxidizing Reagent
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
担当部署	タカラバイオテクニカルサポートライン
電話番号	077-565-6999
FAX番号	077-565-6995
製品コード	635648
TaKaRa Code	Z5648N

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	危険・有害性項目 酸化性固体	GHS分類結果 区分2
健康に対する有害性:	危険・有害性項目 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	GHS分類結果 区分1 区分1

絵表示:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	火災助長のおそれ: 酸化性物質。重篤な皮膚やけど・眼の損傷を起こす。重篤な眼の損傷をおこす。
注意書き:	【安全対策】粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。衣服/可燃物を避けて保存/保管する。可燃物との混合を避ける予防措置をすること。 【応急措置】ただちに医師に連絡すること。眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗うこと。再使用前に汚染された衣服を洗う。吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。飲み込んだ場合、口を漱いでください。ただし、吐かないでください。火災の場合: 消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。 【保管】非該当 【廃棄】内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。
国・地域情報:	国内法は第15章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名(又は一般名)	過ヨウ素酸、Periodic acid
成分及び含有量	1 - 5%
化学特性(化学式又は構造式)	化学式: H5IO6
CAS No.	10450-60-9

4. 応急措置

眼に入った場合:	眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
皮膚に付いた場合:	すべての汚染された衣服と靴を脱ぎ、せっけんと大量の水ですぐに洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
吸入した場合:	新鮮な空気のある場所に移すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
飲み込んだ場合:	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者の保護:	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火方法	異常な火災および爆発の危険性: 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法:	利用可能な情報はない。
消火要領:	利用可能な情報はない。
消防活動装備:	個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。
消火剤:	大量の水、砂
使ってはならない消火剤:	粉末、泡消火剤、二酸化炭素

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置:	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
------------------------	--

環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。その他の環境情報については12項を参照してください。

回収・中和： 利用可能な情報はない。

封じ込め及び浄化方法・機材： 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策： 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

**取扱い：** 技術的対策：火気厳禁。可燃物及び還元剤との接触を避ける。有機物との接触を避ける。目および皮膚への接触を避ける。吸湿性に注意。局所排気装置を使用すること。  
 注意事項：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

**保管：** 安全取扱い注意事項：皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。熱、火花、炎、ほかの発火源から離して保管すること(例：種火、電気モーター、静電気など)。  
 混触危険物質：強酸、有機物、可燃物、強還元剤  
 保管条件：容器は遮光し、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。湿気から保護すること。  
 容器包装材料：ガラス。

## 8. 暴露防止及び保護措置

**安全管理上の留意事項：** 利用可能な情報はない。

**ばく露限界** この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

**許容濃度** ACGIH : TLV-TWA 設定されていない  
 OSHA PEL TWA 設定されていない

**設備対策：** 日本産業衛生学会：設定されていない  
 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

**保護具**

呼吸器用保護具： 防塵マスク

手の保護具： 不浸透性保護手袋

眼の保護具： 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）

皮膚及び身体への保護具： 適切な保護衣を着用すること。保護長靴

適切な衛生対策 使用時には飲食、喫煙をしないこと。

## 9. 物理的および化学的性質

外観等：白色～わずかにうすい黄色、結晶～結晶性粉末 臭い：データなし

pH：データなし 溶解度：データなし

融点：122 沸点：データなし

引火点：データなし 発火点：データなし

爆発範囲：データなし 蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし 比重または嵩比重：データなし

溶媒に対する溶解性：水：極めて溶けやすい。 エタノール：やや溶けやすい。

オクタノール/水分係数 log P：データなし 分解温度：データなし

## 10. 安定性及び反応性

**安定性：** 光により変質するおそれがある。潮解性がある。

**危険有害反応可能性：** 強酸化剤であり、可燃物、還元性物質、金属と激しく反応し、火災や爆発の危険性がある。

**避けるべき条件：** 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク、衝撃、湿気。

**混触危険物質：** 強酸、有機物、可燃物、強還元剤

**危険有害な分解生成物：** よう素化合物

## 11. 有害性情報

**急性毒性：** 経口毒性 データなし  
 経皮毒性 データなし  
 RTECS： データなし

**皮膚腐食性/刺激性：** データなし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：** データなし

**呼吸器感受性又は皮膚感受性：** データなし

**生殖細胞変異原性：** データなし

**発がん性：** データなし  
 IARC リスト：データなし

**生殖毒性：** データなし

**標的臓器/全身毒性(単回暴露)：** データなし

**標的臓器/全身毒性(反復暴露)：** データなし

**吸引性呼吸器有害性：** データなし

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**

水生環境有害性(急性)： 利用可能な情報はない

水生環境有害性(長期間)：

オゾン層への有害性： 利用可能な情報はない  
利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。  
汚染容器および包装： 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 I M Oの規定に従う。

UN No. : 3085

Class : 5.1 (8)

Marine Pollutant : Not Applicable

Proper Shipping Name : Oxidizing solid, corrosive, n.o.s.

Packing Group : II

航空規制情報 I C A O ・ I A T Aの規定に従う。

UN No. : 3085

Class : 5.1 (8)

Proper Shipping Name : Oxidizing solid, corrosive, n.o.s.

Packing Group : II

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法に従う。

国連番号 : 3085

クラス : 5.1 (8)

海洋汚染物質 : 該当しない

航空規制情報 航空法に従う。

国連番号 : 3085

クラス : 5.1 (8)

品名 : その他の酸化性物質 ( 固体 ) ( 腐食性のもの )

容器等級 : II

品名 : その他の酸化性物質 ( 固体 ) ( 腐食性のもの )

容器等級 : II

15. 適応法令

毒物および劇物取締法 : 該当しない

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 ( 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 )、  
名称等を表示すべき危険物及び有害物 ( 法第57条第1項、施行令第18条別表第9 )

化管法 ( PRTR法 ) : 該当しない

カルタヘナ法 : 該当しない

消防法 : 第1類酸化性固体、過よ素酸

麻薬及び向精神薬取締法 : 該当しない

航空法 : 酸化性物質類・酸化性物質 ( 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1 )

船舶安全法 : 酸化性物質類・酸化性物質 ( 危規則第3条危険物告示別表第 1 )

16. その他 引用文献等

1. 改定第2版 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社 ( 2007 )

2. 化学品かんたん法規制チェック「ezCRIC」日本ケミカルデータベース株式会社 Web 版

3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 ( NITE ) GHS分類結果データベース

4. 危険物防災救急要覧—化学物質の性状と取り扱い— ( 社 ) 神戸海難防止研究会編 成山堂書店 ( 1993 )

5. 化学大辞典 共立出版 ( 1993 )

6. Registry of Toxic Effects of Chemical substances NIOSH CD-ROM ( 2004 )

7. The Merck Index 13<sup>th</sup> edition Merck&Co.Inc ( 2001 )

8. 14303の化学商品 化学工業日報社 ( 2003 )

\* 当社の販売する試薬は試験研究用途に限定して販売しております。

\* 製品を取扱う前に取扱説明書をよく読んで、専門知識のある技術者、研究者がお取り扱い下さい。

\* 危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分注意をお願いします。

\* 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は製品としての保証値ではありません。

\* 注意事項等については通常の手配を対象としたものですので、特殊な取り扱いについては、この点のご配慮をお願いします。